

特定非営利活動法人日本雲南聯誼協会

令和3年度会務報告書

- 総会員数 422 名(正会員 222、法人会員 38、賛助会員 22、夢基金会員 140) R4/3/31 現在
- 会報発行回数...4 回(第 76 号、第 77 号、第 78 号、第 79 号)
- メール通信配信回数...21 回

開催日時	活動内容	出席者氏名（敬称略・順不同）
R3/4/23(金) (日本・東京)	東京本部にて 令和3年度 第1回理事会	【理事】初鹿野恵蘭、遠藤功、大鷲修平、桂正徳、林則幸、北原茂実(委任状出席)、中村有里子(委任状出席)、野村孝志(委任状出席)、森正一郎(オンライン出席) 【監事】佐伯義博(オンライン出席) 【事務局(東京本部)】神立めぐみ(会計担当)、蘇鑫(昆明代表処首席代表)、清川絵夢、黒沼明恵 役員顧問の皆さまの健康を確保するため、理事会のみの開催といたしました。
5/14(金) (日本・東京)	東京本部にて 令和3年度 第2回理事会	【理事】初鹿野恵蘭、遠藤功、大鷲修平、野村孝志、林則幸、初鹿野薫(委任状出席)、中村有里子(委任状出席)、桂正徳(委任状出席)、森正一郎(委任状出席) 【監事】佐伯義博(オンライン出席) 【事務局(東京本部)】神立めぐみ(オンライン出席)、蘇鑫(昆明代表処首席代表)、清川絵夢、黒沼明恵 役員顧問の皆さまの健康を確保するため、理事会のみの開催といたしました。
5/29(土) (日本・東京)	東京本部にて 第 21 回定時総会	【理事】初鹿野恵蘭、遠藤功、林則幸、初鹿野薫(委任状出席)、桂正徳、大鷲修平、中村有里子、野村孝志、森正一郎 【監事】佐伯義博 【会員】神立めぐみ、松田雄馬、委任状出席 102 名、書面議決権 13 名 【事務局(東京本部)】蘇鑫(昆明代表処首席代表)、清川絵夢、黒沼明恵
10/27(水) (日本・東京)	東京本部にて 令和3年度 第3回理事会	【理事】初鹿野恵蘭、遠藤功、大鷲修平、野村孝志、林則幸、中村有里子、森正一郎、神立めぐみ 【監事】佐伯義博 【顧問】小松道彦 【事務局(東京本部)】蘇鑫(昆明代表処首席代表)、鄭依楚、黒沼明恵
R4/2/10(木) (日本・東京)	東京本部にて 令和3年度 第4回理事会	【理事】初鹿野恵蘭(オンライン出席)、遠藤功(オンライン出席)、大鷲修平(オンライン出席)、神立めぐみ(オンライン出席)、林則幸、中村有里子(委任状出席)、桂正徳(委任状出席)、野村孝志(委任状出席)、森正一郎(委任状出席) 【監事】佐伯義博(オンライン出席) 【顧問】湊岡彰(オンライン出席)、三宅裕之(オンライン出席)、劉国利(オンライン出席) 【事務局(東京本部)】熊寛(東京本部インターン生)、蘇鑫(昆明代表処首席代表)、黒沼明恵

令和 3 年度 (2021 年度) 事業経過報告書

第 1 号議案

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

令和 3 年度 (2021 年度) も新型コロナウイルス感染症拡大により計画通りの活動ができませんでしたが、「コロナだからできない」と諦めることなく、「コロナだからできる」ことを皆さまと一緒に考え、21 年間培ってきた草の根の支援・交流をとめることなく活動致しました。「25 の小さな夢基金」では新たな国際交流プロジェクトも始まり、令和 3 年 5 月には協会のこれまでの歩みをまとめた記念誌『輝きを増すその先へ』が無事、発行されました。令和 3 年度も変わらずご支援・ご協力いただきました全ての皆さまに心より厚く御礼申し上げます。

1. 協会主催・関連行事

開催日時	活動内容	詳細/参加者氏名 (順不同、敬称略)
R3/4/27 (火) (日本東京)	会報誌『彩雲の南』連載「こんにちは CSR」取材	協会会報誌『彩雲の南』の連載コーナー「こんにちは CSR」の取材で法人会員の株式会社日商平野様と宗教法人信松院様を訪問しました。
5/29(土) (日本千葉)	株式会社ナンセイスチール様 感謝状贈呈 	協会の稲福誠顧問が会長をつとめ、劉国利顧問が取締役社長をつとめる株式会社ナンセイスチールを訪問し、教育支援への多大なるご支援に感謝するため、感謝状を贈呈しました。 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野恵蘭理事長、蘇鑫(昆明代表処首席代表)、清川絵夢(事務局)
5/31 (月) (日本東京)	日本雲南聯誼協会設立 20 周年記念誌 『輝きを増すその先へ』発行 	協会活動 20 年の集大成で、協会活動を支えていただいた皆様や支援した春蕾生、協力していただいた団体の皆様の沢山の想いが詰まった記念誌『輝きを増すその先へ』を発行しました。 経費節約のため会員であるボランティア編集長の平田栄一さんと事務局スタッフがコツコツと編集作業を行いました。 ご協力：平田栄一(編集長)、田中望(デザイン)、小郷あゆみ(ディレクション)、昭和情報プロセス株式会社(法人会員)、株式会社技術評論社 【日本雲南聯誼協会より】林則幸理事、清川絵夢(事務局)
6/14(月)– 28(月) (オンライン)	2021 年在日華僑青少年オンラインサマーキャンプ 第四回 	【主催】中国帰国華僑連合会、雲南帰国華僑連合会、大理州帰国華僑連合会 【協賛】日本雲南聯誼協会、日本華世国際文化芸術交流会、新日桜株式会社 日本雲南聯誼協会は、中国国内だけにとどまらず、海外にいる子どもたちの教育支援にも熱心に取り組んでおり、子どもたちにより多くの学習や交流の機会を提供することを目指し、同サマーキャンプに協賛しました。15 日間のプログラムでは、創作活動や研究プロジェクトなど、さまざまな活動が行われ、より多くの華僑の子どもたちが中国の文化や民族性について学ぶことができました。
6/24 (木) (日本東京)	会報誌『彩雲の南』第 76 号発送	【場所】東京本部事務所 【ボランティア協力】蛭名樹里、滝澤崇 計 2 名 【日本雲南聯誼協会より】蘇鑫(昆明代表処首席代表)、黒沼明恵(事務局)
7/12(月)– 26(月) (オンライン)	2021 年在日華僑青少年オンラインサマーキャンプ 第五回	【主催】中国帰国華僑連合会、雲南帰国華僑連合会、大理州帰国華僑連合会 【協賛】日本雲南聯誼協会、日本華世国際文化芸術交流会、新日桜株式会社

		日本雲南聯誼協会は、中国国内だけにとどまらず、海外にいる子どもたちの教育支援にも熱心に取り組んでおり、子どもたちにより多くの学習や交流の機会を提供することを目指し、同サマーキャンプに協賛しました。15 日間のプログラムでは、創作活動や研究プロジェクトなど、さまざまな活動が行われ、より多くの華僑の子どもたちが中国の文化や民族性について学ぶことができました。
7/17 (日本神奈川)	聶耳記念碑前祭 	【主催】聶耳記念碑保存会主催 【協力】中華人民共和国駐日本国大使館、藤沢市等 【場所】鵠沼海岸(神奈川県藤沢市) 【日本雲南聯誼協会より】蘇鑫(昆明代表処首席代表) 雲南昆明市出身で中国国歌「義勇軍行進曲」作曲者である聶耳が 1935 年 7 月 17 日に鵠沼海岸にて溺死。聶耳の命日に合わせ毎年、開催されている式典に蘇鑫(昆明代表処首席代表)が招待を受け出席。
8/11 (水) (日本東京)	会報誌『彩雲の南』第 77 号発送 	【場所】東京本部事務所 【ボランティア協力】李越東、馬皓晨、熊寛(東京本部インターン生)、滝澤崇 計 4 名 【日本雲南聯誼協会より】蘇鑫、黒沼明恵(事務局)
10/9(土)– 10(日) (オンライン)	国内最大級の国際協力の祭典 グローバルフェスタ 2021 オンライン参加 	国内最大級の国際協力のイベント「グローバルフェスタ JAPAN2021」が 2 年ぶりに開催され、協会はオンラインで参加しました。当フェスタには国際協力や社会貢献に取り組む 100 以上の NPO、教育機関等が参加。協会は林理事のご協力により公式 HP に特設コーナーを作り、たくさんの方に訪問していただきました。
11/7(日) (日本神奈川)	日本雲南聯誼協会設立 20 周年記念大会 雲南省少数民族貧困児童教育支援 第 16 回チャリティーゴルフコンペ 現地視察	【場所】津久井湖ゴルフ倶楽部(神奈川県相模原市) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野恵蘭理事長、遠藤功副理事長、林則幸理事
11/17 (水) (日本神奈川)	日本雲南聯誼協会設立 20 周年記念大会 雲南省少数民族貧困児童教育支援 第 16 回チャリティーゴルフコンペ 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となったチャリティーゴルフコンペを 2 年ぶりに開催しました。当コンペにより集まったご寄付で「25 の小さな夢基金」春蕾生 5 名を新たに支援することができ、当コンペにより支援した生徒は 36 名になりました。	【主催】認定 NPO 法人日本雲南聯誼協会 【場所】津久井湖ゴルフ倶楽部(神奈川県相模原市) 【参加数】16 組 62 名 【ご協力/ご寄付/ご協賛】(順不同、敬称略) 株式会社技術評論社、株式会社リンガーハット、株式会社ナンセイスチール、麒麟(中国)投資有限公司、株式会社スマイル、綿半ホールディングス株式会社、株式会社加藤文明社印刷所、株式会社フォーラムエイト、株式会社日野測量社、図書印刷株式会社、株式会社村上製本所、港北出版印刷株式会社、株式会社日本テクノス、株式会社 FUJI、東磐商事株式会社、一般社団法人日本浙江総商会、京王プラザホテル、津久井湖ゴルフ倶楽部、日中商報、興鷹株式会社、加藤純男、相知美和子、馬形貢、蘇輝、遠藤功、参加者の皆様 【ボランティア協力】宋愛平、龐茜、銭美琪、足立洋一郎、陳曦、滝澤崇 計 6 名 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野恵蘭理事長、遠藤功副理事長、米濱和英顧問、刈岡彰顧問、劉国利顧問、野村孝志理事、林則幸理事、森正一郎理事、寺内明子大宮支部長、蘇鑫、黒沼明恵(事務局) 計 11 名

		
11/22 (月) (日本東京)	会報誌『彩雲の南』第 78 号発送 	【場所】東京本部事務所 【ボランティア協力】宋愛平、陳曦、足立洋一郎、川口邦夫、滝澤崇他 計 5 名 【日本雲南聯誼協会より】黒沼明恵(事務局)
12/18(土)	第 54 回雲南懇話会 	【場所】京都大学百周年時計台記念館 2 階国際交流ホール 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野恵蘭理事長、林則幸理事 会員の安仁屋政武さんが会長をつとめ雲南省最高峰の梅里雪山地域に関心を持つ方々が集う雲南懇話会の「第 54 回雲南懇話会」が開催され、初鹿野恵蘭理事長と林則幸理事ら 105 名が参加しました。雲南省にまつわる話の他、特別講演も行われ、盛会となりました。
12/21(火) (日本東京)	2022 年を語り合う懇親会 	【場所】雲南料理店(東京都内) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野恵蘭理事長、小松道彦顧問、許緯顧問、佐伯義博監事、森正一郎理事、林則幸理事、蘇鑫 計 5 名 元外務副大臣で夢基金サポーターの あべ俊子衆議院議員、笹川平和財団元理事長で会員の関見典さん、在重慶日本国総領事館の斎藤憲二前総領事、法人会員・株式会社スマイルの大平信夫さん、夢基金サポーターの関貴暢さん、中国ビザセンターの李所長等 18 名が集まり、令和 4 年に日中国交正常化 50 周年を迎えるための交流活動に関して話し合いました。
12/28(火) (日本東京)	ボランティア留学生忘年会 	【場所】雲南料理店(東京都内) 【日本雲南聯誼協会より】初鹿野恵蘭理事長 雲南をはじめとする中国各地から日本に留学し、協会ボランティアとしてご協力いただいている留学生と日本人学生 12 名が集まり、日ごろのボランティア活動に感謝し、今後の活動について話し合うため忘年会を開催しました。グローバルな人材を育成するため、協会は今後も若者たちに活躍できる場を提供していきます。
R4/2/4(金) (日本千葉)	会報誌『彩雲の南』連載「こんにちは CSR」取材 	協会会報誌『彩雲の南』の連載コーナー「こんにちは CSR」の取材で株式会社ナンセイスチール様を訪問しました。 
3/16 (水) (日本東京)	会報誌『彩雲の南』第 79 号発送	【場所】東京本部事務所 【ボランティア協力】崔蘇丁、熊寛(東京本部インターン生)、滝澤崇 計 3 名 【日本雲南聯誼協会より】黒沼明恵(事務局)

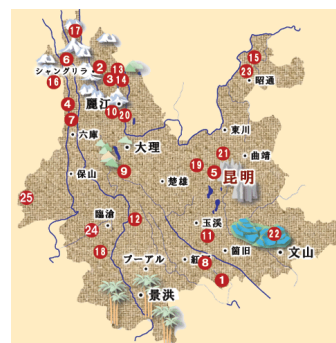
2. 講演会等

開催日時	講演名／詳細／参加者氏名（順不同、敬称略）
R3/6/19(土) 中国雲南省・日本 各地オンライン	「25の小さな夢基金」 第10回「夢は叶う」講演会オンライン開催 ～夢の実現に向かう少女たちへのメッセージ～ 【主催】認定 NPO 法人日本雲南聯誼協会 【共催】昆明市女子中学 【日程】6月19日(土) 【場所】昆明市女子中学(雲南省昆明市)、参加者各地オンライン 【講師】許峰 顧問 【参加者】春蕾生・政府関係者・里親サポーター皆さん等 約300名 2009年に始まり、毎年開催していた「夢は叶う」講演会を2年ぶりにオンラインで開催しました。今回の講師は協会の許峰顧問で、テーマは「「励志篤行，做自己命運的主人（懸命に誠実に努力し、自らの運命の主人公となる）」。高校卒業後の進路や人生の意味、目標を達成する方法など「運命は自分の手で変えられる」ということをお話いただきました。オンラインで参加した「25の小さな夢基金」サポーターの皆さんにも春蕾生へ励ましの言葉をいただきました。   
11/24(水) (日本東京)	多摩大学経営情報学部 特別授業 【場所】多摩大学経営情報学部(東京都多摩市) 【参加者】多摩大学経営情報学部学生約30名 同学部の趙佑鎮教授の『志ゼミ』にて、関秀雄客員教授のご協力により初鹿野恵蘭理事長の特別授業を行い、20年の協会活動を支えてきた志や数々の困難、今日を迎えた感想や日本の若者たちへの期待について話しました。  

3. 教育支援活動

少数民族女子高生を1対1で支援する「25の小さな夢基金」では2021年6月に第13期生89名が卒業し、それぞれが希望する道へ進みました。同年9月には第16期生191名が入学。2006年以来、協会を通じて支援した生徒は1,400名を超えました。令和3年度より昆明市女子中学と愛知県立津島高等学校のオンライン国際交流会が始まり、未来を担う若者たちが国際相互理解を深めるよい機会となりました。

また、春蕾生を対象とした日本語授業が本格的に始まり、日本との国際的な架け橋となる人材を育てています。東京本部では2012年に始まった「アジア未来への人材育成プロジェクト」の一環であるインターンシッププログラムを積極的に行い、東京本部にて2名の留学生が参加しました。



日時・場所	活動内容・参加者（敬称略・順不同）
R3 年度 (日本東京)	「アジア未来への人材育成プロジェクト」インターンシップ ・東京本部インターンシップ 【参加者】熊寛(中国・蘇州市出身、東洋大学1年生)、丁寧(中国・蘇州市出身、上智大学) 2012年に始まったインターンシッププログラムはこれまで東京本部・昆明代表処にて80名以上の学生が参加し、文書作成作業などのオフィス業務からプロジェクト・イベントの企画・運営まで幅広く行い、社会で役立つ人材育成を行っております。  
6/28(月) (中国雲南省・東京本部・日本各地オンライン)	「25の小さな夢基金」 第13期卒業式日本と雲南オンライン開催 【主催】認定NPO法人 日本雲南聯誼協会 【共催】昆明市女子中学 【日程】6月28日(月) 【場所】昆明市女子中学(雲南省昆明市)、東京本部、参加者各地オンライン 【卒業生数】89名 【参加者】19名 例年は6月下旬から1週間程度で「25の小さな夢基金」卒業式に参列するツアー「ふれあいの旅」を実施しておりましたが、令和3年度も新型コロナウイルスにより実施できませんでしたので、昨年同様、昆明市女子中学と東京本部、支援者・会員の皆様をオンラインでつなぎ、卒業式を開催いたしました。協会の清水雄輔顧問をはじめ、愛媛、愛知、岩手、東京、中国は広州、蘇州、そしてアメリカから総勢19名が参加し、卒業を祝いました。 
11/12(金)、 12/10(金) (中国雲南省・東京本部・愛知)	「25の小さな夢基金」昆明市女子中学×愛知県立津島高等学校オンライン国際交流授業 【主催】認定NPO法人 日本雲南聯誼協会 【共催】昆明市女子中学、愛知県立津島高等学校 【日程】1回目 11月12日(金)、2回目 12月10日(金) 【場所】昆明市女子中学(雲南省昆明市)、愛知県立津島高等学校、東京本部 【参加者】11/12 昆明市女子中学17名、愛知県立津島高等学校17名、12/10 昆明市女子中学10名、愛知県立津島高校10名 「25の小さな夢基金」里親サポーターで翻訳ボランティアとしても長年ご協力いただいている栗田久里子さんのご提案・ご協力により「25の小さな夢基金」春蕾生と愛知県立津島高等学校の生徒の皆さんとのオンライン国際交流授業を開催しました。愛知県立津島高等学校は海外との国際交流に力を入れています。今後も定期的にオンライン国際交流授業を行い、グローバルな視野を持つ人材育成に努めていきます。  

R4/1/12(水) (中国雲南省・東京本部・日本各地オンライン)	「25 の小さな夢基金」 オンライン春節の贈り物ミニ贈呈式 【主催】 認定 NPO 法人 日本雲南聯誼協会 【共催】 昆明市女子中学 【日程】 令和 4 年 1 月 12 日 (水) 【場所】 昆明市女子中学(雲南省昆明市)、東京本部、参加者各地オンライン 「25 の小さな夢基金」里親サポーターの皆さまから春蕾生への春節の贈り物やお手紙をお渡しするミニ贈呈式をオンラインで行い、里親サポーターの皆さまにも参加していただきました。贈り物を手にした春蕾生たちからはご支援と贈り物への感謝の言葉が述べられ、里親サポーターの皆さまからは励ましのお言葉をいただきました。遠く離れていても、お互い顔を見ることができ、とても感動的な贈呈式となりました。
令和 3 年度通年 (中国雲南省)	「25 の小さな夢基金」 日本語授業 【場所】 昆明市女子中学(雲南省昆明市) 【プログラム提携団体】 桜にはんご学校(新世界教育集团) 昆明中心、雲南大学滇池学院日本語学科 【参加者】 春蕾生 105 名 春蕾生の日本語学習への興味をかきたて、異文化交流への意識を向上させるために令和 2 年度より始まった日本語授業を令和 3 年度も引き継ぎました。令和 3 年度からは毎週日曜日に正規授業として行われ、カリキュラムは日本語教材として定評のある新世界教育集团出版の『新編日語教程 1』を採用し、雲南大学滇池学院日本語学科のご協力のもと桜にはんご学校の日本語教師の皆さんにより五十音の発音から始まり、会話、読解、作文など丁寧な授業を行っています。

4. 主な協会活動への参加者のべ人数

活動内容	活動地	回数/日数	人数 (のべ/概算)
協会 (本部・支部) 主催イベント	日本 雲南	3 回/3 日	【事業従事者】 20 名 【ボランティア】 約 20 名 【参加者】 約 100 名
「25 の小さな夢基金」、支援活動、事務局業務	日本 雲南	通年事業	【事業従事者】 30 名 【協力者・ボランティア】 約 100 名
講演活動	日本	2 回/2 日	【事業従事者】 20 名 【協力者・ボランティア】 約 10 名
令和 3 年度 (2021 年度) に行われた日本聯誼協会の全ての活動 【事業内直接受益者数】 3,000 名 (概算)			

特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会正味財産増減計算書(令和3年度)

[税込](単位:円)

特定非営利活動法人日本雲南聯誼協会

自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日

科 目	金 額		
I 経常収益の部			
1 【受取会費】			
正会員受取会費		1,165,500	
法人会員受取会費		1,422,000	
賛助会員受取会費		268,000	2,855,500
2 【事業収入】			
(1) 日本及び中国の実地見学及び研修会・交流会等の実施		0	
(2) 日本及び中国の民族文化や科学技術及び農業技術の紹介		0	
(3) 中国の教育の推進を図る為の小学校建設支援		0	
(4) 日本及び中国の物産の紹介		0	
(5) 日本語及び中国語教室の開催		0	
(6) 日本及び中国の保健医療技術の紹介		0	
(7) 日本及び中国の環境保全技術の紹介		0	
3 【寄付金収入】			
寄付金収入		18,029,181	18,029,181
4 【受取助成金等】			
受取助成金		2,000,000	2,000,000
5 【その他収益】			
受取利息		50	
雑収入		156	206
経常収益 計 (A)			22,884,887
II 経常費用の部			
1 【事業費】			
(人件費)			
給料手当(事業)	1,739,100		
役員報酬(事業)	2,754,000		
臨時雇賃金(事業)	349,375		
法定福利費(事業)	853,301		
通勤交通費(事業)	346,612		
福利厚生費(事業)	5,688		
人件費計	6,048,076	6,048,076	
(その他経費)			
業務委託費	344,827		
広告宣伝費(事業)	1,307,395		
旅費交通費(事業)	125,600		
通信運搬費(事業)	181,348		
事務消耗品費(事業)	3,889		
賃借料(事業)	391,200		
租税公課(事業)	600		
支払手数料(事業)	27,470		
支払寄付金	8,197,506		
雑 費(事業)	1,106		
その他経費計	10,580,941	10,580,941	
事業費 計		16,629,017	
2 【管理費】			
(人件費)			
給料手当	1,437,900		
役員報酬	306,000		
臨時雇用費	112,875		
法定福利費	429,315		
通勤費	148,548		
福利厚生費	5,450		
人件費計	2,440,088	2,440,088	
(その他経費)			
旅費交通費	23,360		
通信運搬費	198,478		
事務消耗品費	361,405		
広告宣伝費	323,368		
交際費	37,880		
諸会費	38,000		
租税公課	600		
支払手数料	90,575		
雑費	6,820		
その他経費計	¥1,080,486	1,080,486	
管理費 計		3,520,574	
経常費用 計 (B)			20,149,591
当期経常増減額			2,735,296
【経常外収益】			
経常外収益 計 (E)		0	0
【経常外費用】			
雑損失	60		
経常外費用 計 (D)	60		60
税引前当期正味財産増減額			2,735,236
当期正味財産増加額 (A) - (B) - (D) + (E)			2,735,236
前期繰越正味財産額 (C)			5,799,242
期末正味財産合計額 (A) - (B) - (D) + (E) + (C)			8,534,478

令和3年度 会計収支の決算を致しました

令和4年3月31日 理事長 初鹿野 恵蘭

会 計 神立 めぐみ

上記、決算を監査したところ、正確適正であることを確認致しました

令和4年4月13日 監 事 佐伯 義博

令和3年度(2021年)収支計算書注記

注記１：会費納入率

会員種別	①年度初の有効会員数	②年度中の入会者	③年度中の退会者	④年度末有効会員数 ①+②-③	⑤期待収入額 (概算) ④×年会費	⑥年度末収入	⑦納入率 (概算) ⑥÷⑤
正会員	240	7	25	222	¥ 1,332,000	¥ 1,165,500	87.5%
法人会員	42	2	6	38	¥ 684,000	¥ 1,422,000	207.9%
賛助会員	25	1	4	22	¥ 264,000	¥ 268,000	101.5%
計	307	10	35	282	¥ 2,280,000	¥ 2,855,500	125.2%

注記２：寄付金の明細

(単位：日本円)

寄付内容	金額	構成比
一般寄付	¥1,864,604	10.35%
25の小さな夢基金	¥8,814,284	48.89%
教育支援	¥545,000	3.02%
チャリティーゴルフ寄付による就学支援	¥356,118	1.96%
20周年記念	¥249,175	1.38%
久留米・雲南教育基金	¥1,200,000	6.66%
日本雲南未来人材教育基金	¥5,000,000	27.74%
合 計	¥18,029,181	100.00%

一ツ橋総合財団助成金	¥2,000,000
合 計	¥2,000,000

注記３：決算科目について

- ①人件費 代表理事1名、正職員2名→1名、インターン生2名、臨時雇用2名→1名 従事割合により按分
②業務委託費 昆明代表処経費(業務活動費及び管理費人件費含む)
③広告宣伝費 20周年記念誌制作費
④賃借料 各種イベントの保管倉庫代
⑤支払寄附金 2020年度分1-3年次、2021年度分3年次 計541名分夢基金支援金、春蕾卒業生1名の日本語学校の授業料の助成
⑥交際費 慶弔費用、土産等10件
⑦支払手数料 銀行手続き、通信関連の手数料

注記４：事業費の主なプロジェクト別収支

プロジェクト名	収入	支出	収支差額	備考
(1) 日中実地見学、研修会、交流会				
文化交流	233,075	119,991	54,890	収入：一般寄附金 支出：人件費(上段)その他(交通費¥48,950、通信費¥6,494等)
経済交流	233,075	425,991	-200,520	収入：一般寄附金 支出：人件費(上段)その他(通信費¥4,494、手数料¥2,750等)
アジア未来への人材育成	1,483,075	971,191	414,659	収入：一般寄附金・日本雲南未来人材育成基金 支出：人件費(上段)その他(交通費¥58,640、支払寄附金¥34,091等)
20周年記念	482,250	818,991	-1,630,380	収入：一般寄附金、20周年記念寄附金 支出：人件費(上段)その他経費(広告宣伝費¥1,288,045等)
		1,293,639		
(2) 日中民族文化、科学技術紹介				
各種講演会	233,076	745,191	-517,889	収入：一般寄附金 支出：人件費(上段)その他(通信費¥4,494等)
		5,774		
(3) 中国の教育推進				
25の小さな夢基金	11,420,402	1,001,916	1,918,983	収入：夢基金、チャリティーゴルフ、日本雲南未来人材育成基金、助成金 支出：人件費(上段)その他(支払寄附金¥8,163,415、業務委託費¥172,413等)
		8,499,503		
教育支援	3,995,000	0	3,995,000	収入：教育支援寄附金、久留米・雲南教育基金、日本雲南未来人材育成基金、助成金
(4) 日中物産紹介				
各イベント	466,152	1,538,812	-1,433,164	収入：一般寄附金 支出：人件費(上段)その他(賃借料¥312,960等)
ゴルフ、フェス、写真展		360,504		
(5) 日中国語教室の開催				
春蕾生向け日本語授業	1,483,076	425,993	876,825	収入：日本雲南未来人材育成基金、一般寄附金 支出：人件費(上段)その他(業務委託費¥172,414等)
		180,258		
(6) 日中保健医療				
実施せず	0	78,240	-78,240	支出：賃借料
(7) 日中環境保全				
実施せず	0	0	0	
合計	20,029,181	16,629,017	3,400,164	

* 事業活動の詳細(個人情報を除く会計資料)は、本部事務所で公開していますので、お気軽に問合せ下さい。また、東京都生活文化局のNPO法人ポータルサイトでも公開しています。